

ASEANクロニクル

～ひと目でわかるASEANと日本のあゆみ～

1967年の設立宣言以来、東南アジア地域の平和と安定を目指し、発展を続けてきたASEAN。
日本とは、最初の協力関係が始まった1973年から現在まで、深く多面的な交流が続いています。



2017
●ASEAN設立
50周年

2015
●第27回ASEAN首脳
会議にて、ASEAN
共同体ビジョン2025
を採択
●ASEAN共同体の
設立

2011
●東ティモールが
ASEANに加盟
申請

2011
●駐ASEAN日本政府代表
部開設
●日・ASEAN首脳会議に
おいて、日・ASEAN関係
をさらに強化することを
謳ったバリ宣言・行動計
画を採択

2008
●ASEAN憲章発効

2008
●日・ASEAN包括的
経済連携 (AJCEP)
協定が発効

2007
●ASEAN共同体の創設
年を2015年に5年前倒
しする
●ASEAN憲章調印
●ASEAN経済共同体
(AEC)創設に向けた
ブループリントを発表

2005
●第1回東アジア首脳
会議開催

2004
●日本が東南アジア
友好協力条約
(TAC)に加盟

2003
●第9回ASEAN首脳会議
にて、第二ASEAN協和
宣言を採択し、2020年
までのASEAN共同体
創設を提唱

2003
●日・ASEAN交流年
●東京でASEAN諸国の首脳が域
外で初めて一堂に会した日・
ASEAN特別首脳会議が開
催。「日・ASEAN東京宣言」お
よび「日・ASEAN行動計画」
を採択し、日・ASEAN協力の
展望について、具体的な施策を
とらった内容が合意される

2002
●幅広い分野において経済
連携を強化することによ
り、日・ASEAN関係のさら
なる深化を目指す「日・
ASEAN包括的経済連携
構想」を日本が提唱

1999
●カンボジア王国加盟
「ASEAN10」の実現

1997
●ラオス人民
民主共和国加盟
●ミャンマー
連邦加盟

1997
●第1回日・ASEAN
首脳会議開催
●第1回ASEAN+3
(日本・中国・韓国)
首脳会議開催

1995
●ベトナム社会主義
共和国加盟

1992
●第4回ASEAN公式首脳
会議にて、域内の関税撤
廃により自由貿易を実現
させるASEAN自由貿易地
域 (AFTA) の創設を採択

1994
●日本の提案で、アジア太
平洋における政治・安全
保障分野に関する対話の
場であるASEAN地域
フォーラム (ARF)が初め
て開催

1984
●ブルネイ・
ダルサラーム国加盟

1981
●東京に東南アジア諸
国連合貿易投資観光
促進センター (日本
アセアンセンター) が
設立

1977
●第1回日・ASEANフォーラム
が開催され両地域の関係が
公式なものとなる。8月には
日・ASEAN首脳会議を実施
●福田赳夫総理 (当時) が訪問
先のマニラでASEAN地域重
視の外交政策「福田ドクト
リン」を表明

1976
●第1回ASEAN首脳会議開催
→東南アジア友好協力条約 (TAC)
とASEAN協和宣言を採択
*東南アジア友好協力条約 (TAC):
国連憲章に基づき、域内諸国間
において平和的な関係を維持・管理
するための国際的合意
*ASEAN協和宣言: 政治、安全保障、
経済分野等、域内協力の基本原則
→ASEAN事務局の設置を採択

1967
●東南アジア諸国連合
(ASEAN) 設立

1973
●「日・ASEAN合成
ゴムフォーラム」が
設置され、日本と
ASEANは対話を
開始

1970's
アメリカ軍のベトナム撤退、
インドシナ半島における共産化
の動き、中国の台頭、ベトナム
によるカンボジア侵攻にともない、
ASEANは政治的な結束を強め、
安全保障問題にも積極的
に関与するよう
になりました。

1980's
冷戦の終結、カンボジア和平
など地域の情勢も安定してき
ました。ASEAN地域は国際社会
からの支援、外国企業の進出な
どに後押しされ、「世界の成長
センター」といわれるほどの
目覚ましい経済発展を
遂げていきます。

1990's
ASEANはASEAN拡大外相会議
(PMC) やアジア欧州会議 (ASEM)
の開催など、地域外の国や地域との関係を
強化し、対話の場を増やしていきます。
また、ASEAN域内においては「ASEAN自由
貿易地域 (AFTA)」の設立に合意、経済分野
での協力の重要性が増していきます。90年代
後半にはベトナム、ラオス、ミャンマーおよび
カンボジアが加わり、設立以来の目標で
あった「ASEAN10」が実現し、東南
アジア地域の統合体としての
役割を強めます。



原加盟国5カ国の外相がバンコクに集まり、
ASEAN設立宣言 (バンコク宣言) に署名
写真提供: ASEAN事務局



日・ASEAN 特別首脳会議
写真提供: 内閣広報室



2010's
ASEAN共同体が設立。現在、
ASEANは共同体を強固にするための
さまざまな取り組みを推進しています。
特にASEAN経済共同体は、域内で「ヒト・
モノ・カネ」の行き来が自由になることで
さらなる経済の活性化が予測されており、
ASEAN地域は経済成長が著しく、
潜在力が高い地域として、日本のみ
ならず世界中から注目を集め
ています。

2000's
1997年に起きたアジア通貨危機
を乗り越え、ASEANは域内の連携を
深め、さらなる発展を目指します。「ASEAN
政治・安全保障共同体 (APSC)」、「ASEAN経済
共同体 (AEC) および「ASEAN社会・文化共同体
(ASCC)」の3つの共同体形成を通じたASEAN共
同体を2015年までに実現することを提唱します。
また、他の地域との関係もさらに強化し、2005年
からは、1997年より開催している「ASEAN+3
(日本・中国・韓国) 首脳会議」に加え、
オーストラリア、ニュージーランド、インドを
含めた東アジア首脳会議 (EAS)
を開催します。